

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

1. 「利用カード」を作しましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作れます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
2. 本は、5冊まで3週間借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。
 - ※本は大切に扱い、友達に貸したり失くしたりしないようにしましょう。

★本を返すとき★

1. 返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合は、延長ができます。
2. 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。
 - ※本が汚れていたり、大事なものはさんだりしていないか確認してください。
 - ※返却期日は守りましょう！！

★本を探すとき★

1. 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
2. インターネットや携帯電話から探すこともできます。
 - ※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

1. 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出しましょう。
2. パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。
 - ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。



みきゃん

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454

★開館時間★(火～金)午前9時40分～午後7時
(土日・祝日)午前9時40分～午後6時
(子ども読書室は午後5時まで)

★休館日★ 月曜、館内整理日(月末)、年末年始

<http://www.ehimetosyokan.jp>

(携帯サイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/mobileopac/top.do>
スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>)

愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん

Vol. 46 2016.9

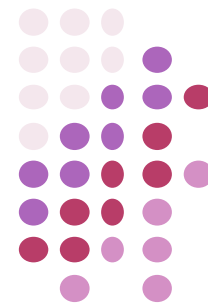


★新刊案内★

- ☆『クマゼミから温暖化を考える』 沼田 英治／著 岩波書店
- ☆『小やぎのかんむり』 市川 朔久子／著 講談社
- ☆『少女奇譚 あたしたちは無敵』 朝倉 かすみ／著 KADOKAWA
- ☆『1歩前からはじめる「統計」の読み方・考え』 神林 博史／著 ミネルヴァ書房
- ☆『ままならないから私とあなた』 朝井 リョウ／著 文藝春秋
- ☆『学校が教えないほんとうの政治の話』 斎藤 美奈子／著 筑摩書房
- ☆『すべては平和のために』 濱野 京子／作 新日本出版社
- ☆『さよならクリームソーダ』 額賀 滯／著 文藝春秋
- ☆『若冲』 黒田 志保子／著 国土社
- ☆『少年たちの戦場』 那須 正幹／作 新日本出版社
- ☆『声のお仕事』 川端 裕人／著 文藝春秋
- ☆『トンヤンクイがやってきた』 岡崎 ひでたか／著 新日本出版社

Listen to the sound ~音と音楽の本~

まだ暑いですが、芸術の秋です。音楽に関することを書いた本はいろいろ。実際に音は聞こえてこないけれど、本で味わい心に響かせる「音」も良いものです。



『こころのおと』

ピーター・レイノルズぶん・え なかがわ ちひろ・やく 主婦の友社
少年ラジはピアノを弾きます。彼の才能を感じた父親は、ラジにピアノを習わせます。
しかし、上手になればなるほど、ピアノがつまらなくなってきたラジは…。
音楽の楽しさと、家族への愛に満ちた、あたたかな絵本。



『誰がために鐘を鳴らす』

山本 幸久著 KADOKAWA

年度末で廃校になる諏那高校の全校生徒は3年生42人(男子のみ)。
町工場の三代目、錫之助は、インフルエンザで高校入試に失敗し、この高校に入ったので特段感慨はない。ある日、学校の片付けでハンドベルを発見。それはかつて活躍した諏那高ハンドベル部の備品だった。「近くの女子高と合同練習したい！」下心から、錫之助たちは担任の先生もメンバーに入れて、音楽の先生カラニヤンの指導の下、活動を始める。彼らの活動は周囲を巻き込み、何かと思わぬ方向へ。—これは。未来の始まりだ。—



『ラジオのお仕事』

室井 昌也著 勉誠出版

日本でラジオ放送が始まったのは1925年。戦争やテレビの普及、インターネットの出現を乗り越えて、ラジオは今も多くの人に愛されています。番組を作るプロデューサーから、音楽番組のナビゲーター、野球中継の実況アナウンサー、お天気キャスター、交通情報キャスター、ラジオ局の営業、広報の仕事をする人など、「ラジオのお仕事」は私たちが考えるよりも多岐にわたっているのです。その人たちの働き方や考え方、ラジオに対する熱い思いを読んでみませんか。

ラジオの世界で働きたい人のための学校情報もあり。



『音の大研究』

戸井 武司監修 PHP研究所

私たちは音の中で暮らしています。普段意識しないそれらの音に、私たちは大きな影響を受けながら暮らしています。音が生まれる仕組み、声を出す仕組み、楽器の音について、録音技術、音で音を消す「アクティブノイズコントロール」などが分かりやすく絵や写真で説明されています。また、昼間と夜ではなぜ音の聞こえ方が違うのか、通り過ぎる救急車のサイレンの音が変わる理由など、おもしろい知識も満載です。



『7本指のピアニスト』

西川 悟平著 朝日新聞出版

小さいころから習う人が多いピアノ。西川悟平さんは音楽の先生に憧れ、15歳からピアノを始めます。無理だと言われた音楽短期大学に何とか合格し、大学編入を目指しますが三回続けて編入試験に失敗します。

生活のために和菓子屋で働いているとき、アメリカのピアニストとの運命的な出会いがあり、ピアニストとしてアメリカでデビューしますが、病気のために指が動かなくなってしまいます。

「〇〇だから無理」と言いたくなることを、あきらめず乗り越え、夢を叶えていく姿に励まされる一冊です。



ご質問やご意見は、メールでも受け付けます。

アドレスは、ya@libnet.ehimetosyokan.jp

(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)

★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。